

**【概要・目標】**

環境要因による健康障害について学ぶ。職業病や作業関連疾患についての基本的な知識を習得する。作業環境管理、作業管理、健康管理の3管理を主体とした労働衛生管理の考え方をもとに、それらの予防対策を講じるための応用力を身につける。また、性・年齢をはじめとする労働者の多様性を考慮しながら、すべての労働者がより快適に仕事をしていくための考え方を習得する。さらには、職域で課題となっている喫煙対策、2015年から施行されているストレスチェックを含むメンタルヘルス対策についても学ぶ。

---

**【授業内容のスケジュール】**

- 1) 環境保健論の概論
- 2) 職域における有害要因と労働衛生管理の概要 (総論)
- 3) 有害作業と健康障害 (職業病)
- 4) 作業管理とエルゴノミクス
- 5) 労働者の多様性と作業管理
- 6) 職場の喫煙対策
- 7) 心身の作業関連疾患、ストレスチェックについて
- 8) まとめ

---

**【評価】**

試験 (100%)、レポート (0%)、小テスト (0%)、発表 (0%)、提出物 (0%)、出席状況 (0%)、参加態度 (0%)、その他 (0%)

---

**【教科書】**

使用しない。プリントを配布する。

---

**【推薦参考図書】**

法研 編「職域における保健と医療実践ハンドブック」法研 2007  
中央労働災害防止協会 編「労働衛生のしおり 令和2年度」中央労働災害防止協会2019  
(最新版は毎年8月頃発行されます)

---

**【その他】**

連絡先: moriokai@wakayama-med.ac.jp (森岡)  
iwane-mst@ns-med.or.jp (岩根)

---

**(後期) 2年次・選択**

---

**【概要・目標】**

「食の科学」で得た知識をもとに臨床栄養学の概念、食事療法の基準と実際について理解する。一般栄養学、エネルギー制限食、他の治療食の必要性について理解し、各種病態や疾患の治療法と栄養療法を統合的に整理することを目的とする。生活習慣病に代表される疾患の予防についても学ぶ。

---

**【授業内容のスケジュール】**

- 1) 病態栄養学の概念 食事療法と看護
- 2) 消化器疾患の食事療法
- 3) 代謝性疾患の食事療法
- 4) 糖尿病の食事療法
- 5) 呼吸・循環器疾患の食事療法
- 6) 腎疾患の食事療法
- 7) 感染症、免疫疾患の食事療法
- 8) アレルギー疾患の食事療法

---

**【評価】**

試験 (70%)、小テスト (0%)、発表 (10%)、提出物 (レポート等) (10%)、出席状況 (10%)、参加態度 (0%)、その他 (0%)

---

**【教科書】**

講義プリント

---

**【推薦参考図書】**

系統看護学講座 別巻「栄養食事療法」医学書院  
富野康日己編集「症状・疾患別食事指導の看護へのいかしかた」医歯薬出版  
武田英二著 「臨床病態栄養学」 文光堂

---

**【その他】**

---

---

（後期）2年次・選択

---

---

**【概要・目標】**

救急医学は、症状の緊急性であるプライマリーケアと症状の重篤性であるクリティカルケアからなる急性の病態学、症候学である。救急医学の中には、救急医療システム、蘇生学、外傷学、ショック、多臓器不全、中毒学、熱傷学、集団災害医学などがある。

目標は救急の講義で救急医療における看護の役割を実践できる知識を学び、災害医療では災害訓練に参加し、トリアージおよび災害での看護の役割を学ぶ。

---

---

**【授業内容・スケジュール】**

- 1) 救急医学総論
- 2) 災害医療
- 3) 心肺蘇生術（BLS と ACLS）
- 4) 外傷の初療と看護
- 5) ショック
- 6) 熱傷と中毒
- 7) 集中治療と看護

---

---

**【評価】**

筆記試験

---

---

**【教科書】**

プリント配布

系統看護学講座 別巻4 第4版、救急看護学、医学書院、2007

---

---

**【推薦参考図書】**

1. 「外傷初期看護ガイドライン JNTEC 改訂第3版」日本救急看護学会監修、へるす出版 2014  
(ISBN978-4-89269-851-4)
2. 「クリティカルケア看護入門― “声にならない訴え” を理解する」(NEW STAGE NURSING シリーズ)  
卯野木 健 著、ライフサポート社 2008 (ISBN978-4-904084-06-9)
3. 「JRC 蘇生ガイドライン 2015 日本蘇生協議会・日本救急医療財団監修、へるす出版 2016

---

---

**【その他】**

(後期) 2年次・選択

---

---

**【概要・目標】**

現代社会における労働や生活の場での機械化は便利で快適な生活をもたらした。しかし一方では、身体活動を減少させ、運動不足に伴う様々な弊害を引き起こしている。本講義では、運動中の生理機能の働きや、運動が身体に与えるさまざまな効果を学びながら、運動が健康の保持増進や生活習慣病の予防にどのように関わるかについての基礎的な理解を深めることを目標とする。

---

**【授業内容・スケジュール】**

- 1) 身体運動のメカニズム
- 2) 身体運動とエネルギー供給
- 3) 身体運動と呼吸循環の応答
- 4) 身体運動による身体の形態的・機能的変化
- 5) 有酸素性作業能力とその評価法
- 6) 健康増進と疾病予防に適した身体運動
- 7) 運動指導の基礎
- 8) 生活習慣病と運動指導の実際

---

**【評価】**

受講態度(20%)、小テスト(10%)、筆記試験またはレポート(70%)により総合的に判断する

---

**【教科書】**

授業時に資料を配付する

---

**【推薦参考図書】**

佐藤祐造 編「特定健診・保健指導に役立つ健康運動指導マニュアル」文光堂 2008

---

**【その他】**

連絡先：miyain@wakayama-med.ac.jp

**【概要・目標】**

広く女性の健康を守るために必要な基礎知識と支援を考える力を養う。

授業は、講義で基本的知識を説明した後に、演習（ディスカッション等）で学生が主体的に学習する構成で行う。

1. 生命に関する倫理観や看護観、共感的態度を養う。
2. 母性看護の実践に必要な概念・理論・施策を理解する。
3. 母子保健の動向について学ぶ。
4. リプロダクティブヘルス・ライツについて学ぶ。
5. セクシュアリティについて理解する。
6. 女性のライフステージに伴う女性特有の健康問題について理解する。

---

**【授業内容のスケジュール】**

- 1) オリエンテーション 母子保健の動向
- 2) 母性看護実践を支える概念（ヘルスプロモーション、エンパワメント、ウェルネス）と理論（母子相互作用、愛着形成、母親役割）
- 3) マタニティサイクルにおける母子の健康
- 4) マタニティサイクルにおける母子の健康
- 5) 周産期に関わる生命倫理
- 6) 高度生殖補助医療・出生前診断を受ける対象への看護
- 7) 周産期における死
- 8) 演習
- 9) 社会的養護 乳児院の役割 乳児院看護部長
- 10) リプロダクティブヘルス・ライツとセクシュアリティ
- 11) 演習
- 12) 演習
- 13) 女性のライフステージ特有の健康問題と看護
- 14) 演習
- 15) 演習

---

**【評価】**

筆記試験（60%）、授業への参加態度（20%）、提出物（20%）

---

**【教科書】**

新道幸恵他著「母性看護学①」メヂカルフレンド社  
新道幸恵他著「母性看護学②」メヂカルフレンド社

---

**【推薦参考図書】**

適宜紹介する。